

# 技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター（LIBTEC）の概要

設立年月日：平成22年4月2日

理事長：吉野彰（旭化成株名誉フェロー）

組合員：旭化成株、株クラレ、(国法)産業技術総合研究所、J S R株、J N C株、住友ベークライト株、大日本印刷株、東レ株、凸版印刷株、株日本触媒、日立化成株、富士フイルム株、三井化学株、三菱ケミカル株、三井金属鉱業株、日産化学工業株（15企業1国法）

事業費：平成29年度4.8億円

事業の概要：リチウムイオン電池等蓄電池材料の評価研究

## ○組合設立の目的

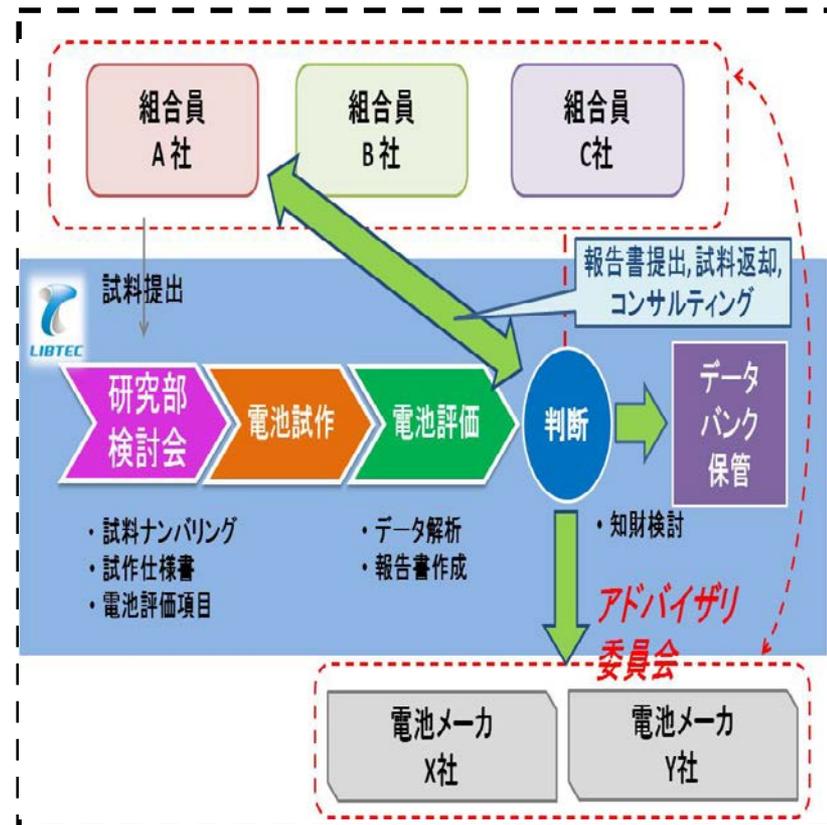
- ・ 共通的な標準評価手法を開発し、新材料の評価・開発サイクルを加速
- ・ 評価結果のフィードバックおよびコンサルティングによる高性能材料の提案
- ・ E V用等先進・革新蓄電池系の新材料にも展開

## ○実用化の方向性

- ・ 電池メーカー等から構成されたアドバイザーリー委員会に、高性能材料を提案（採用支援）
- ・ 複数以上の材料メーカー等のコラボレーションによる高性能化

## ○事業化の目途の時期

- ・ 各組合員が順次LIBTEC新材料を事業化
- ・ 組合としては助成事業終了後の平成27年度から、自主事業として材料評価事業を継続中



組織体制

2017.11.1.現在

